

# 第3期中期目標期間における重点的取組

## 第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

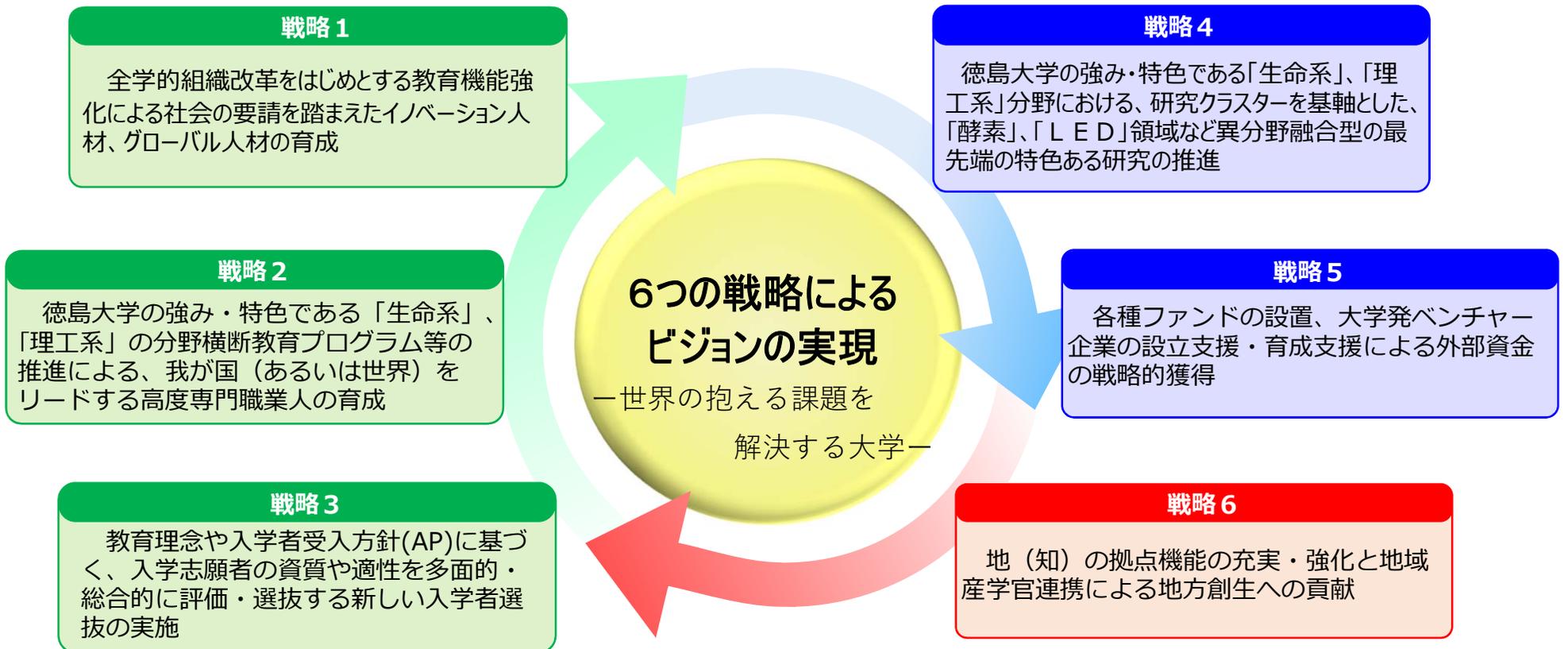
徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。

第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産業学部や工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトニクス研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究部、社会産業理工学研究部を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の実立等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が挙県一致で取り組む「V S東京『とくしま帰帰』総合戦略」の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。



# 第3期中期目標期間における重点的取組

## 第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。

第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

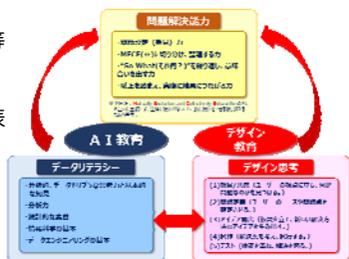
**地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産業学部や理工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。**

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトニクス研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究部、社会産業理工学研究部を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業設立等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が挙県一致で取り組む「V S東京『とくしま帰帰』総合戦略」の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。

### 戦略1：全学的組織改革をはじめとする教育機能強化による社会の要請を踏まえたイノベーション人材、グローバル人材の育成

- 【評価指標】
- ▶ デザイン思考コンテスト等の入賞数
  - ▶ 日本人学生の留学者数
  - ▶ 学生・院生の国際学会発表の状況
  - ▶ 学生の就職状況



#### 取組1

- 新学部設置等による学際的で地域のニーズやグローバル化に対応した人材育成教育の推進
- ▶ 学部新設・改組を基軸とした教育プログラムの開発・実施
  - ▶ 大学院組織整備による新たな学際的教育研究プログラムの開発・実施

#### 取組2

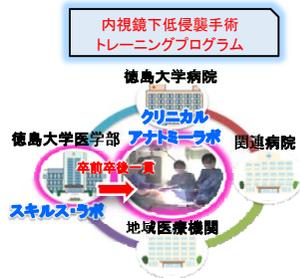
- AIとデザイン思考で活躍できるイノベーション人材の育成
- ▶ AI技術とデザイン思考により解決への道筋を示すSTEAM人材の育成及びAIの社会実装をサポート

#### 取組3

- 共同教育研究施設の見直しによる教育・学生支援の充実・強化
- ▶ 入学前から就職に至るまで一貫した教育支援及び学生支援強化体制の構築

### 戦略2：徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」の分野横断教育プログラム等の推進による、我が国（あるいは世界）をリードする高度専門職業人の育成

- 【評価指標】
- ▶ 受講者自身による達成度評価
  - ▶ 大学院卒業者のうち外科系診療科を選択した就職者総数
  - ▶ 大学院卒業者のうち就職先の評価
  - ▶ 国家試験合格率



#### 取組4

- 高度医師・歯科医師の育成のための卒前卒後一貫トレーニングプログラム構築
- ▶ 未固定遗体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラムの構築

#### 取組5

- 国際的に優位な医薬品産業基盤の創出及び人材育成プログラム構築
- ▶ ITツールの機能・理化学的性質の薬学的解析に基づく革新的薬物送達システム(DDS)の創製を通じた実践型人材育成事業

### 戦略3：教育理念や入学者受入方針(AP)に基づく、入学志願者の資質や適性を多面的・総合的に評価・選抜する新しい入学者選抜の実施

- 【評価指標】
- ▶ APに基づく多面的・総合的評価手法による選抜の全学展開状況
  - ▶ 入学志願者数
  - ▶ アドミッションポリシーの認知状況



#### 取組6

- 入試改革（徳島方式）の推進
- ▶ 高等学校教育及び大学教育の質的転換に対応した入学者選抜改革 - 志願者の「確かな学力」を的確に把握する多面的・総合的な選抜方法（徳島方式）の導入 -

# 第3期中期目標期間における重点的取組

## 第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。

第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産業学部や理工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトリソグラフィ研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究部、社会産業理工学研究部を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の実現等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が挙県一致で取り組む「V5東京」とくしま回帰総合戦略の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。

**戦略4：**  
徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」分野における、研究クラスターを基軸とした、「酵素」、「LED」領域など異分野融合型の最先端の特色ある研究の推進

- 【評価指標】
- 論文の掲載件数
  - 論文の被引用件数
  - 共同研究件数
  - 特許料収入



**取組7**

「生命系」研究拠点の形成と「酵素」研究、国民病である「花粉症」、「糖尿病」研究など特色ある異分野融合型研究の推進  
 > 先端酵素学研究所設置（H28拠点認定）

**取組8**

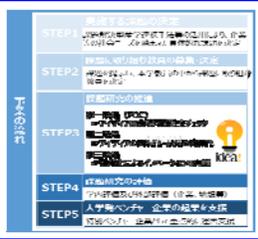
「理工系」研究拠点形成と「LED」研究など強み・特色を活かした異分野融合型研究プロジェクトの推進  
 > LEDライフイノベーション総合プラットフォーム推進事業

**取組9**

研究クラスターを基軸とした特色ある異分野融合型研究の推進  
 > 特色ある異分野融合型共同研究の推進による新たなイノベーションの創出

**戦略5：**  
各種ファンドの設置、大学発ベンチャー企業の実現支援・育成支援による外部資金の戦略的獲得

- 【評価指標】
- 大学発ベンチャー企業の起業数
  - 共同研究受入金額
  - 新たな戦略的基金の寄附金獲得金額
  - クラウドファンディング成功数



**取組10**

各種ファンドを設置・運用し、既存の大学発ベンチャー企業の育成及び新規設立を支援  
 > 専門スタッフの配置など寄附金獲得に向けた学内体制を整備  
 > クラウドファンディングをはじめ、各種ファンドの設置・運用  
 > 大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の実現・育成を支援  
 > 大学版SBIR制度の確立と地域イノベーション創出基盤の構築

**戦略6：**  
地（知）の拠点機能の充実・強化と地域産学官連携による地方創生への貢献

- 【評価指標】
- 地域インターンシップ参加人数
  - 協定等による地域課題解決事業等の取組件数
  - 地域との対話の場の設定件数
  - 県内自治体、産業界との共同研究件数



**取組11**

県内就職率向上と雇用創出による若者の地元定着促進  
 > 「とくしま元気イノベーション人材育成プログラム」による教育改革を通じた地元就職率の向上と雇用創出  
 平成27年度「地(知)の拠点大学による地域創生事業 (COC+)」

**取組12**

地域産学官連携による「人づくり」、「仕事づくり」による地方創成の実現のための取組推進  
 > 生物資源産業学部と県の研究拠点を核に「産学官」の連携強化を図り、「アグリサイエンスゾーン」を構築し、農林水産業の成長産業化を推進

**取組13**

「組織」対「組織」の地域連携体制の強化  
 > 本部拠点及びサテライトオフィスの充実・強化による地域人材育成と課題解決事業等の展開

# 第3期中期目標期間における重点的取組

## 第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。

第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産業学部や理工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトニクス研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究部、社会産業理工学研究部を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の設立等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が拳県一致で取り組む「V S 東京『とくしま回帰』総合戦略」の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。

戦 略	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>戦略1：</b> 全学的組織改革をはじめとする教育機能強化による社会の要請を踏まえたイノベーション人材、グローバル人材の育成  <b>評価指標</b> > デザイン思考コンテスト等への入賞数 > 日本人学生の留学生数 > 学生・院生の国際発表の状況 > 学生の就職状況	<b>取組1：新学部設置等による学際的で地域のニーズやグローバル化に対応した人材育成教育の推進</b> 平成28年度の生物資源産業学部設置・理工学部設置（工学部改組）・総合科学部改組等の組織改革を基軸として、新たな教育研究プログラムを開発・実施 大学院組織整備を行い、新たな分野融合型教育（教育クラスター）を導入し、グローバルな視点から新たな価値（イノベーション）を創出できる高度専門職業人を養成 <b>【継続】産業競争力を強化する人材育成事業～全学的な組織改革による「生命系・理工系」の教育研究機能強化～</b>					
	<b>イノベーション（創新）人材育成教育と世界で活躍できるグローバル人材育成教育の推進</b> アイデア創出から社会実装まで一貫したイノベーション教育体制の構築 切れ間ない語学教育プログラムによる一貫した語学・グローバル教育の強化、全学的なイノベーション人材教育を展開 <b>【世界で活躍する創新（イノベーション）人材】育成のための「創新教育センター」及び「語学教育センター」の充実</b>					
	<b>取組2：AIとデザイン思考で活躍できるイノベーション人材の育成</b> AI技術とデザイン思考により解決への道筋を示すSTEAM人材の育成及びAIの社会実装をサポート <b>【新規】デザイン型AI教育研究センターの地域定着化によるAI思考の普及と社会実装の推進</b>					
<b>取組3：共同教育研究施設の見直しによる教育・学生支援の充実・強化</b> 教育の質保証のための全学的な教育・学生支援体制を構築し、入学から卒業まで一貫した教育の実施（大学院教育を含む）、学生支援の充実、国際化を推進 <b>【継続】高等教育研究センターの設置による教育・学生支援の充実・強化</b>						

# 第3期中期目標期間における重点的取組

戦 略	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>戦略2：</b> 徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」の分野横断教育プログラム等の推進による、我が国（あるいは世界）をリードする高度専門職業人の育成  <b>評価指標</b> > 受講者自身による達成度評価 > 大学院卒業者のうち外科系診療科を選択した就職者総数 > 大学院卒業者のうち就職先の評価 > 国家試験合格率	<b>取組4： 高度医師・歯科医師の育成のための卒前卒後一貫トレーニングプログラム構築</b> <b>【継続】未固定遗体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラムの構築</b>					
	<b>俯瞰的立場から創業全般に従事できる創業者の育成プログラム構築</b> <b>創業人育成のための創業実践道場教育構築事業</b>					
<b>戦略3：</b> 教育理念や入学者受入方針(AP)に基づく、入学志願者の資質や適性を多面的・総合的に評価・選抜する新しい入学者選抜の実施  <b>評価指標</b> > APに基づく多面的・総合的評価手法による選抜の全学展開状況 > 入学志願者数 > アドミッションポリシーの認知状況	<b>取組5： 国際的に優位な医薬品産業基盤の創出及び人材育成プログラム構築</b> <b>【継続】エキソソームの機能・理化学的性質の薬学的解析に基づく革新的薬物送達システム(DDS)の創製を通じた実践型人材育成事業</b> 持続可能な教育システムとしてカリキュラムへの組み込み恒常的な人材育成体制を確立					
	<b>取組6： 入試改革(徳島方式)の推進</b> <b>【継続】高等学校教育及び大学教育の質的転換に対応した入学者選抜改革～志願者の「確かな学力」を的確に把握する多面的・総合的な選抜方法(徳島方式)の導入～</b>					

# 第3期中期目標期間における重点的取組

戦 略	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>戦略4：</b> 徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」分野における、研究クラスターを基軸とした、「酵素」、「LED」領域など異分野融合型の最先端の特色ある研究の推進  <b>評価指標</b> > 論文の掲載件数 > 論文の被引用件数 > 共同研究件数 > 特許料収入	<b>取組7：「生命系」研究拠点の形成と「酵素」研究、国民病である「花粉症」、「糖尿病」研究など特色ある異分野融合型研究の推進</b> 平成28年度に生命科学系4センターを統合し先端酵素学研究所を設置（共同利用・共同研究拠点認定） <b>共通政策課題（全国共同利用・共同実施分）</b> 「最先端酵素学を基盤とするイノベーション創出のための共同利用・共同研究国際拠点の形成」（拠点経費）  「トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業 - 免疫難病研究拠点の構築と全国ネットワークへの参加 -」（プロジェクト分） ※九州大学、熊本大学、東京医科歯科大学との連携事業					
	<b>取組8：「理工系」研究拠点形成と「LED」研究など強み・特色を活かした異分野融合型研究プロジェクトの推進</b> <b>【継続】LEDライフィノベーション総合プラットフォーム推進事業</b>					
	全国で唯一の医学部医科栄養学科の特色を活かした異分野融合型研究プロジェクトの推進 細胞内分子記憶調節機能解明による食育イノベーション推進研究					
	生活習慣病に対する食による予防法・治療法の開発 研究成果を指標とする食育プログラムの構築  <b>取組9：研究クラスターを基軸とした特色ある異分野融合型研究の推進</b> <b>【継続】特色ある異分野融合型共同研究の推進による新たなイノベーションの創出 - 研究クラスター事業支援 -</b>					
<b>戦略5：</b> 各種ファンドの設置、大学発ベンチャー企業の設立支援・育成支援による外部資金の戦略的獲得  <b>評価指標</b> > 大学発ベンチャー企業の起業数 > 共同研究受入金額 > 新たな戦略的寄附金獲得金額 > クラウドファンディング成功数	<b>取組10：各種ファンドを設置・運用し、既存の大学発ベンチャー企業の育成及び新規設立を支援</b> 各種ファンド設置（地元金融機関等の協力を得て各種ファンドを設置）、既存の大学発ベンチャー企業の育成及び新規設立を支援 <b>【継続】大学版SBIR制度の確立と地域イノベーション創出基盤の構築</b>					

# 第3期中期目標期間における重点的取組

戦 略	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>戦略6：</b> 地（知）の拠点機能の充実・強化と地域産学官連携による地方創生への貢献  <b>評価指標</b> > 地域インターンシップ参加人数 > 協定等による地域課題解決事業等の取組件数 > 地域との対話の場の設定件数 > 県内自治体、産業界との共同研究件数	取組11: 県内就職率向上と雇用創出による若者の地元定着促進  「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」による教育改革を通じた地元就職率の向上と雇用創出 平成27年度「地(知)の拠点大学による地域創生事業(COC+)」					
	取組12: 地域産学官連携による「人づくり」、「仕事づくり」による地方創生の実現のための取組推進  ・本部拠点及びサテライトオフィスの充実・強化による地域人材育成と課題解決事業等の展開 ・地域社会や企業からのニーズに応じたオーダーメイド型教育プログラムによる地域産業人材育成事業等を実施 ・高校・大学・企業が一体となり、地域資源や強みを活かした新産業の創出を目指す「未来創生キャンパス」を県とともに設置し、地域社会の未来を創る人材育成事業を展開 ・生物資源産業学部と県の研究拠点を核に「産学官」の連携強化を図り、「アグリサイエンスゾーン」を構築し、農林水産業の成長産業化を推進 【継続】産官学・部局間連携による地域資源を活用した地方創生事業					
				取組13: 「組織」対「組織」の地域連携体制の強化  【継続】地域人材育成及び「組織」対「組織」の地域連携活動促進に向けた地域連携体制機能の強化		